

平成26年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	ゆきみらい2015in長岡	事業経緯	継 続	実施体制	実行委員会	担当所属	企画部
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業		事業区分	展示会、〇〇ショー	

1. 事業目的

克雪・利雪技術の課題や研究、雪に強いまちづくり、雪国の自然環境・歴史・文化の継承など、ハード・ソフト両面にわたる様々な取り組みに対する意見交換や情報交換、ならびに全国へ雪国の情報発信を行うことにより、雪国の未来を展望し、地域の活性化を図ることを目的に開催する。

2. 事業実施体制

主 催: ゆきみらい2015in長岡実行委員会

国土交通省北陸地方整備局・北陸信越運輸局、新潟県、長岡市、東日本高速道路(株)新潟支社、中日本高速道路(株)金沢支社、(公社)雪センター、(一社)日本建設機械施工協会、(一社)北陸地域づくり協会、(一財)新潟県建設技術センター、(独)土木研究所雪崩・地すべり研究センター、(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター、(一社)新潟県建設業協会、(一社)長岡市建設業協会、長岡商工会議所、(公社)新潟県観光協会、(一社)長岡観光コンベンション協会、(公社)中越防災安全推進機構、NPO法人中越防災フロンティア

後 援: 文科省、農水省、全国首長会、雪対策関連協議会・学会、報道機関など 38団体

3. 事業実施概要

日 程: 平成27年1月29日(木)～30日(金)

場 所: アオーレ長岡

プログラム:

- ① ゆきみらいシンポジウム
特別講演『次に晴ればそれでいい』講師: 荻原 次晴
パネルディスカッション『雪に備える～対流で育む地域力～』等
- ② ゆきみらい研究発表会
論文発表 7テーマ、40編
- ③ ゆきみらい見本市
雪関連技術見本市・物産展・飲食展 42者出展
- ④ 除雪機械展示会
除雪機械展示・最新除雪技術紹介 9者出展
- ⑤ その他
オブショナルツアー、自然災害科学実験教室など

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

北陸・東北・北海道各ブロック持ち回りで毎年開催しており、今回が30回目。「雪国の知恵・技術・力を長岡から全国へ」をテーマとし、平成26年2月に発生した関東甲信地方での大雪を踏まえ、雪国と少雪地域との連携・交流(対流)を通じて、日本全体の防災力向上のための議論を行った。
北海道から近畿地方の広域から参加者が集まり、長年にわたって培った雪国の優れた生活の知恵やノウハウを共有することで雪に関する課題克服の進展が期待できるとともに、雪国文化の発信・発見を通じた地域活性化・観光振興が図られる機会となった。
2日間での来場者は15,000人を数え、多くの報道で取り上げられた。



オープニングセレモニー
歓迎アトラクション



見本市



シンポジウム



研究発表会



除雪機械展示会